

(Windows 10 Version)

# Excel-2019-Level 05

## - 上級編 -



体系学習★初歩からのPCテキスト

第 01 章: ユーザー定義の表示形式:1(数値).....	5
01 章 01 節... 数値の基本表示形式・「0」の利用 .....	5
01 章 02 節... 桁区切りの表示形式 .....	6
01 章 03 節... 小数点の桁数 .....	7
01 章 04 節... パーセントの表示形式 .....	8
01 章 05 節... 強制桁表示 .....	9
01 章 06 節... まとめ .....	10
01 章 07 節... 練習問題 .....	11
第 02 章: ユーザー定義の表示形式:2(日付).....	13
02 章 01 節... 文字列の表示形式 .....	13
02 章 02 節... 日付の表示形式 .....	14
02 章 03 節... 元号と和暦年の書式記号 .....	15
02 章 04 節... 曜日の書式記号 .....	17
02 章 05 節... セルにコメント・メモを入れる .....	19
02 章 06 節... コメントを印刷対象とする .....	21
02 章 07 節... コメントの削除 .....	22
02 章 08 節... まとめ .....	22
02 章 09 節... 練習問題 .....	23
02 章 10 節... [参考資料]: 表示形式記号一覧表 .....	24
第 03 章: ユーザー定義の表示形式:3(文字と時刻).....	25
03 章 01 節... 文字データの作成.「」引用符の利用 .....	25
03 章 02 節... 文字データ入力時に先に表示形式を設定しておく .....	26
03 章 03 節... 時刻の表示形式 1・時:分 .....	28
03 章 04 節... 時刻の表示形式 2・時:分:秒 .....	29
03 章 05 節... 時刻のユーザー定義表示形式・分:秒 .....	31
03 章 06 節... 24 時間・60 分・60 秒を超える表示 .....	33
03 章 07 節... まとめ .....	35
03 章 08 節... 練習問題 .....	35
第 04 章: 複数の論理式-AND 関数・OR 関数.....	37
04 章 01 節... 論理式と IF 関数の復習と確認 .....	37
04 章 02 節... AND 関数の使用 .....	39
04 章 03 節... OR 関数の利用 .....	41
04 章 04 節... IF 関数の引数[論理式]に AND 関数を採用する .....	42
04 章 05 節... IF 関数の引数[論理式]に OR 関数を採用する .....	44
04 章 06 節... 関数まとめ .....	46
04 章 07 節... 練習問題・論理式 .....	48
04 章 08 節... 練習問題・I 関数との組み合わせ .....	50
第 05 章: 統合 .....	51
05 章 01 節... 統合の準備・統合とは? .....	51
05 章 02 節... 統合の操作 .....	51
05 章 03 節... その他の集計(平均).....	53
05 章 04 節... 自動リンクする統合結果表の作成 .....	54
05 章 05 節... まとめ .....	56

05章06節… 練習問題 .....	56
05章07節… 練習問題 .....	58
第06章: 高度なグラフとその調整.....	59
06章01節… 日付軸をテキスト軸に .....	59
06章02節… 降下線/縦軸目盛線と軸位置 .....	61
06章03節… 多項式近似曲線とオプション・折れ線グラフのスムージング .....	63
06章04節… 縦棒グラフにおける[要素の間隔][系列の重なり].....	64
06章05節… 複合グラフと第2軸の表示.....	67
06章06節… 散布図 .....	70
06章07節… R-2乗値(あーるじじょうち)と数式を表示して相関性を調べる.....	71
06章08節… まとめ .....	72
06章09節… 練習問題 .....	73
06章10節… 練習問題 .....	76
第07章: COUNTIF関数・2 [あいまい検索] .....	79
07章01節… 引数がセル名である際の注意 .....	79
07章02節… [検索対称]にワイルドカード(*)を使う・～で始まる/終わる .....	81
07章03節… [検索対称]に以上・以下を使う(>=/ $\leq$ ).....	83
07章04節… あいまい検索とセル参照の同時利用 .....	84
07章05節… AVERAGEIF関数であいまい検索 .....	86
07章06節… まとめ .....	88
07章07節… 練習問題 .....	89
第08章: ピボットテーブル【Pivot table】2.....	90
08章01節… 値フィールドの追加 .....	90
08章02節… アイテムの入れ替えと並べ替え .....	93
08章03節… 分析元範囲・データソースの変更 .....	94
08章04節… ピボットテーブルのレイアウトを調整する .....	98
08章05節… 計算の種類を変更する(%・割合であらわす).....	101
08章06節… 詳細の表示 .....	102
08章07節… 抽出状態からの分析 .....	103
08章08節… ページを分ける .....	104
08章09節… [スライサーの挿入]を利用してフィルターをする .....	105
08章10節… [タイムライン]で日付・時刻のフィルターをする .....	107
08章11節… まとめ .....	108
08章12節… 練習問題 .....	108
08章13節… 練習問題 .....	112
第09章: 日付と時刻の処理.....	115
09章01節… 【TODAY】関数と【NOW】関数を使う .....	115
09章02節… TODAY・NOWの比較と研究.....	117
09章03節… 日付データを分解する/【YEAR】関数/西暦の取得.....	118
09章04節… 日付データを分解する/【MONTH・DAY】関数/月・日の取得.....	120
09章05節… 【DATE】関数の原理・分解した日付を再結合する .....	121
09章06節… DATE関数の活用方法.....	122
09章07節… DATE関数を使わずに「日」の計算をする .....	124

09章 08節… 日付・時刻・数値の研究・表示形式(参考学習).....	124
09章 09節… 時刻の分解・【HOUR/MINUTE/SECOND】 <時/分/秒> .....	126
09章 10節… 【TIME】関数の活用方法.....	128
09章 11節… セル参照を使って時間計算させてみる.....	129
09章 12節… その他の時刻の計算方法.....	130
09章 13節… まとめ.....	132
09章 14節… 練習問題.....	133
第10章: フィルターオプション .....	136
10章 01節… 標準のフィルターの復習.....	136
10章 02節… OR条件のフィルターオプションの利用とワイルドカード(*).....	138
10章 03節… 抽出条件を「〜〜で始まる」の形式で指定する.....	140
10章 04節… 完全一致検索.....	141
10章 05節… AND条件のフィルターオプション.....	142
10章 06節… 絞り込み条件(AND条件)の追加.....	143
10章 07節… 不等号の使用.....	144
10章 08節… 〜を含む.....	145
10章 09節… OR条件とAND条件の組み合わせ.....	145
10章 10節… まとめ.....	146
10章 11節… 練習問題.....	147
10章 12節… 練習問題.....	150

…  →操作の説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™、®マークは明記していません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材は Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
  - ◆ Version No:excel-2019-05-上級 1-210903
  - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ  
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
  - ◆ 発行人 三橋信彦
  - ◆ 定価 一円

## 第01章:ユーザー定義の表示形式:1(数値)

### 01章01節…数値の基本表示形式・「0」の利用

(01) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)	
3		1428	11250	10920			
4		357	815	906			
5		4168	15095	13225			
6		98	0	5295			
7		515	9375	10830			
8							
9							

(02) B 列に入力されている数値の見た目(表示形式)を「1428 番」のようにするつもりです。数値をオリジナル・独自の見た目(表示形式)にする場合には[セルの書式設定]ダイアログボックスの【表示形式】タブを使います。

セル B3:B8 を選択して[数値の書式・その他の表示形式]を選択するか、{Ctrl}+{1}キーを押してください。[セルの書式設定]ダイアログボックスが表示されます。

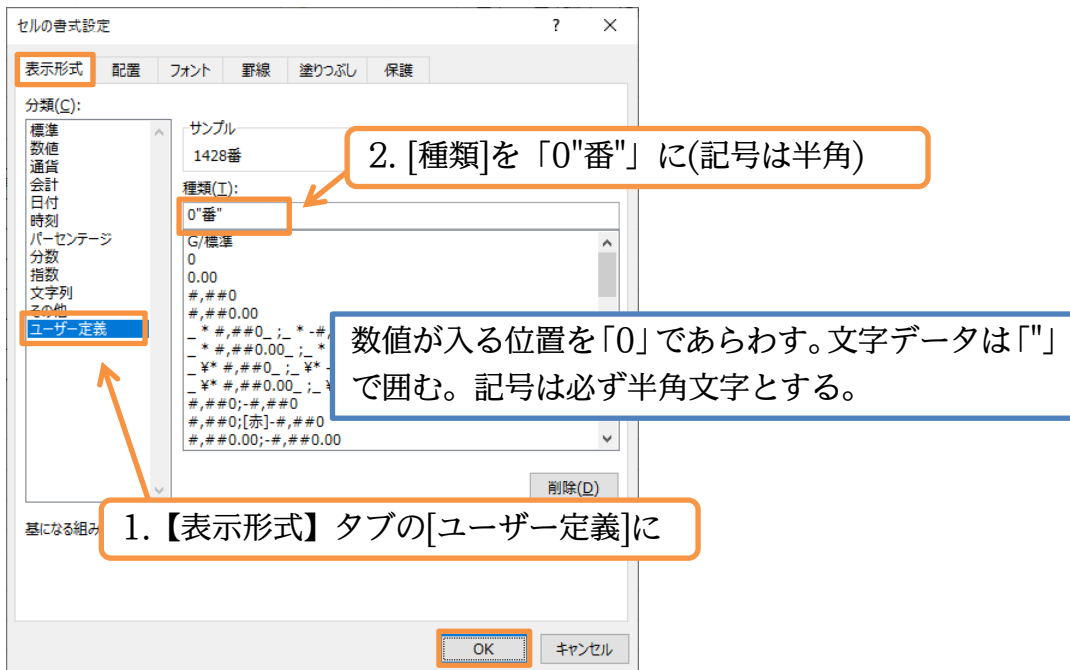
{Ctrl}+{1}でも可

2. [数値の書式・その他の表示形式]

1. セル B3:B8 を選択

その他の表示形式(M)...

- (03) オリジナルの表示形式をセットする際は[セルの書式設定]ダイアログボックス【表示形式】タブの[ユーザー定義]を選択します。そして[種類]欄に設定したい表示形式を登録するので、「0"番"」と入力してください。記号は必ず「半角」とします。セルに入力されていた数値を表示させる位置を「0」で指定します。「0」の前後に表示させたい文字を「"」で囲んで指定します。「0"番"」とすれば「数値(0)のあとに『番』と表示させる」表示形式になります。設定後はOKしてください。



- (04) こうすると B 列の数値の見た目が「数値+番」となります。数式バーで確認できる格納データは数値のままです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11250	10920						
4		357番	815	906						
5		4168番	15095	13225						
6		98番	0	5295						
7		515番	9375	10830						
8										
9										
10										

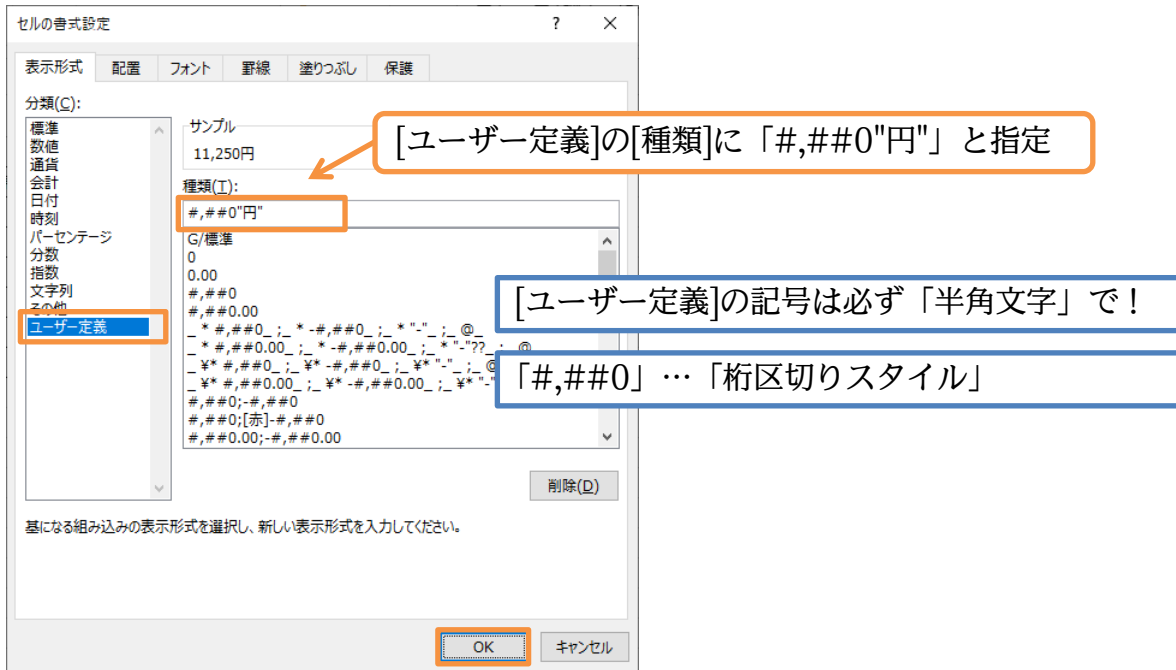
## 01章02節…桁区切りの表示形式

- (01) C 列と D 列の数値を「11,250 円」のような表示形式にしてみます。桁区切りカンマなしならば「0"円"」と指定しますが今回は桁区切りカンマありです。選択して[セルの書式設定]ダイアログボックスの【表示形式】タブを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11250	10920						
4		357番	815	906						
5		4168番	15095	13225						
6		98番	0	5295						
7		515番	9375	10830						
8										

C3:D8 を選択して[セルの書式設定]【表示形式】

(02) 桁区切りカンマありの場合には「0」の代わりに「#,##0」を使います。記号には半角文字を使います。[ユーザー定義]の[種類]に「#,##0"円"」を指定しOKします。



(03) 「0」の代わりに「#,##0」を使うと桁区切りカンマを表示させることができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円						
4		357番	815円	906円						
5		4168番	15,095円	13,225円						
6		98番	0円	5,295円						
7		515番	9,375円	10,830円						
8										
9										

## 01章03節…小数点の桁数

(01) E列には[前月比]を表示させます(今月売上÷前月売上)。  
セルE3に「=D3/C3」を作成してください。

セルE3に「=D3/C3」を作成

(02) セルE3の計算式をE8までコピーします。続けてこの前月比を「0.9706倍」のような表示形式にします。「小数点4桁」までの表示にするのです。

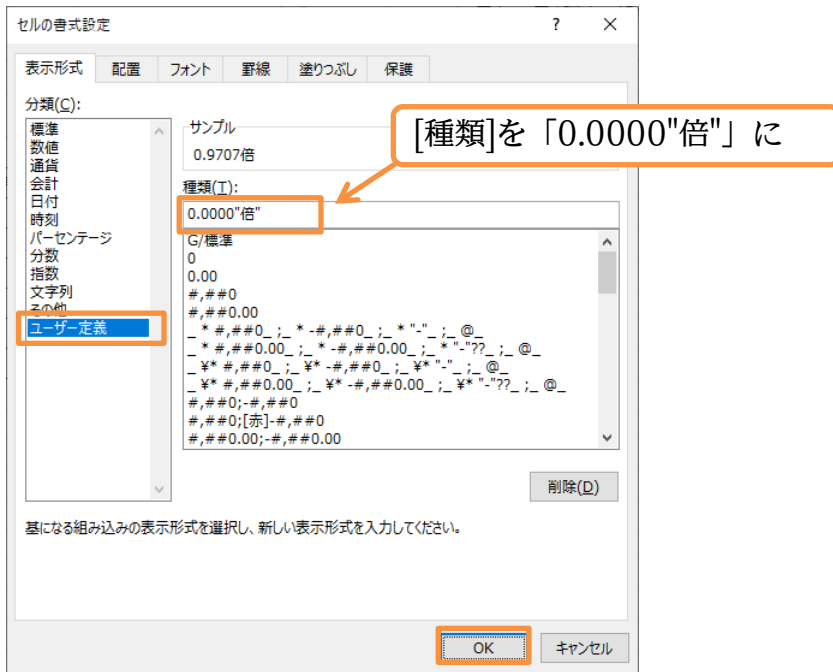
選択して[セルの書式設定]ダイアログの【表示形式】タブを出してください。

セルE3の計算式をE8までコピーしてからセルE3:E8を選択して[セルの書式設定]【表示形式】

(03) 小数点 4 桁まで表示させたい場合には「0」を「0.0000」とします。

つまり[種類]を「0.0000"倍"」とするのです。小数点以下の桁を表示させたい際には「0」のあとに「.」を入れ、そのあとに表示させたい桁数分だけ「0」を追加するのです。

設定後は OK しましょう。



(04) 小数点 4 桁まで表示させる設定が完了しました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍					
4		357番	815円	906円	1.1117倍					
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍					
6		98番	0円	5,295円	#DIV/0!					
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍					
8					#DIV/0!					
9										

## 01章04節…パーセントの表示形式

(01) F 列には E 列と同じ式(今月売上÷前月売上)を設定してください。

ここで F 列の小数倍率を「約 97.07%」のような形式で表示させます。

選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

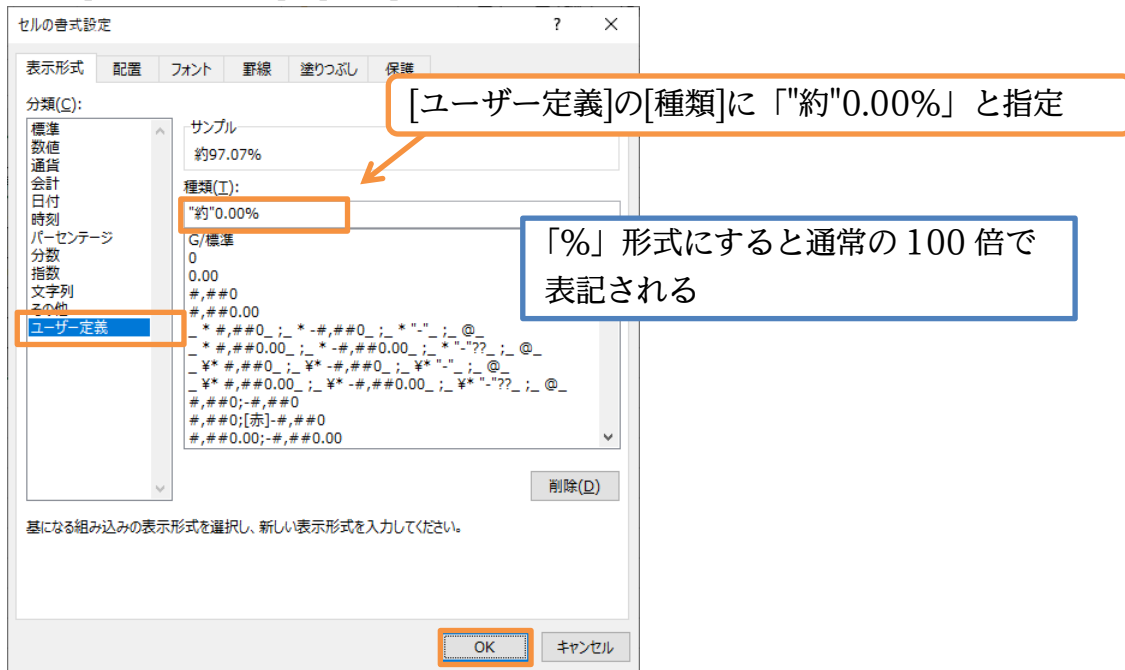
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	0.970666667				
4		357番	815円	906円	1.1117倍	1.111656442				
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	0.87611792				
6		98番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!				
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	1.1552				
8					#DIV/0!	#DIV/0!				
9										
10										



(02) パーセント表示にする場合には「0%」を使います。

小数点2桁まで表示させるならば「0.00%」となります。

[ユーザー定義]の[種類]に「"約"0.00%」と指定しOKしてください。



(03) F列の数値に「約」が付き、「%」形式で表示されました(小数点3桁以下が非表示に)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	約97.07%				
4		357番	815円	906円	1.1117倍	約111.17%				
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	約87.61%				
6		98番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!				
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	約115.52%				
8					#DIV/0!	#DIV/0!				
9										

## 01章05節…強制桁表示

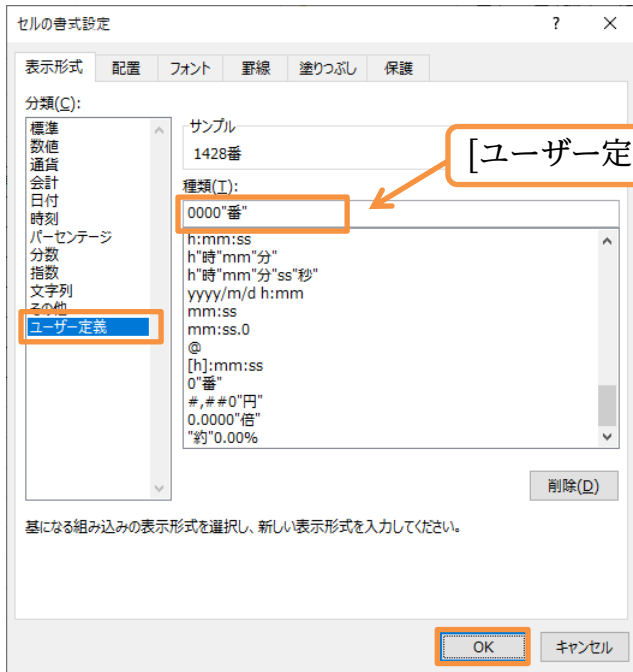
(01) B列には店舗番号が入力されています。しかし桁が揃っていません。

これらの番号を無理やり「4桁」で表示させてみます。

この設定もオリジナルの表示形式を作成することで可能になるのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	約97.07%				
4		357番	815円	906円	1.1117倍	約111.17%				
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	約87.61%				
6		98番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!				
7		515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	約115.52%				
8					#DIV/0!	#DIV/0!				
9										
10										

(02) [ユーザー定義]の[種類]欄に、絶対に表示させたい桁の分だけ「0」を入力します。  
今回は絶対に 4 桁は表示させる設定をするので「0000"番"」とし OK します。



(03) B 列においては、3 桁以下の数値も必ず 4 桁まで表示されるようになりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)				
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	約97.07%				
4		0357番	815円	906円	1.1117倍	約111.17%				
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	約87.61%				
6		0098番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!				
7		0515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	約115.52%				
8					#DIV/0!	#DIV/0!				
9										
10										

(04) 8 行目に数値を入力して動作を確認しましょう。

完成後はこのファイルを閉じます(必要に応じて保存)。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		店舗番号	前月売上	今月売上	前月比(倍率)	前月比(%)	
3		1428番	11,250円	10,920円	0.9707倍	約97.07%	
4		0357番	815円	906円	1.1117倍	約111.17%	
5		4168番	15,095円	13,225円	0.8761倍	約87.61%	
6		0098番	0円	5,295円	#DIV/0!	#DIV/0!	
7		0515番	9,375円	10,830円	1.1552倍	約115.52%	
8		0007番	14,315円	13,570円	0.9480倍	約94.80%	
9							

セル B8:D8 に数値を入力・テスト  
(例：7・14315・13570)

## 01章06節…まとめ

- ◆ ユーザー定義の表示形式を作成する際には数値の位置を半角の「0」で指定します。
- ◆ 桁区切りカンマ入りの数値を扱う際には「#,##0」を用います。
- ◆ 文字の位置は半角の"」で囲み指定します。「1525」を「1525 円」とするならば「0"円"」と指定するのです。
- ◆ 小数点以下の桁数を表示させる際には「.」のあとに表示させたいだけゼロ・0 を用います。小数点 2 桁表示ならば「0.00」です。
- ◆ 「000」のように 0 を複数回使うと、その桁数分だけ必ず表示されるようになります。
- ◆ 「%」を表示形式に用いれば、数値部分は 100 倍された状態で表示されます。

## 01章07節…練習問題

(01) 次のような計算表を作成しましょう。赤字部分は計算で表示させます。

下書き入力時には「人」や「円」などの単位は入力しません。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		支店番号	従業員数	売上	一人あたり売上	
3		016	8人	850,000円	106,250円	
4		820	8人	630,000円	78,750円	
5		007	15人	1,080,000円	72,000円	
6		022	5人	450,000円	90,000円	
7						

(02) 次のような計算表を作成しましょう。理想体重は「身長×身長×20÷10000」です。

BMI(体格指数)は「体重÷身長÷身長×10000」です。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		氏名	身長	体重	理想体重	理想体重との差	BMI	
3		井山	155.5cm	42.0kg	48.4kg	-6.4kg	Pt:17.37	
4		青木	150.0cm	45.0kg	45.0kg	0.0kg	Pt:20.00	
5		佐々木	178.0cm	66.5kg	63.4kg	3.1kg	Pt:20.99	
6		芝原	161.5cm	50.5kg	52.2kg	-1.7kg	Pt:19.36	
7								

(03) 左のように表を作成し、完成後は表示形式を設定することで右のように変更しましょう。

なお半角ハイフン(-)など、半角演算記号(「+」「-」「/」とカッコ「(」「)」)は二重引用符で囲む必要はありません。


(郵便番号の解: "〒"000-0000) (電話番号 10 桁の解: 000-000-0000)

	A	B	C	D	E
1					
2		氏名	郵便番号	電話番号	
3		達川	2440003	904842886	
4		君島	640821	706507911	
5		向井	1450001	806533531	
6					



	A	B	C	D	E
1					
2		氏名	郵便番号	電話番号	
3		達川	〒244-0003	090-484-2886	
4		君島	〒064-0821	070-650-7911	
5		向井	〒145-0001	080-653-3531	
6					

(04) 次のような計算表を作成しましょう(青字は数値セル、赤字は計算セル)。割引率のセル(D10)は変更できるようにします。E10の計算式にはD10の数値を使用するのです。完成したら数量と割引率を変更してみましょう(計算式を完成させてから単位や表示形式を設定した方がわかりやすい)。※割引額の端数は切り上げしている(ROUNDUPを使用)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	商品名	ケース単価	数量	金額		
3	みかん	3,200円	ケース数 8	25,600円		
4	りんご	980円	ケース数 7	6,860円		
5	イチゴ	1,230円	ケース数 12	14,760円		
6	ぶどう	1,640円	ケース数 8	13,120円		
7						
8						
9		小計		60,340円		
10		割引率15%	割引額	9,051円		
11		お支払金額		51,289円		
12						

	A	B	C	D	E	F
1						
2	商品名	ケース単価	数量	金額		
3	みかん	3,200円	ケース数 10	32,000円		
4	りんご	980円	ケース数 4	3,920円		
5	イチゴ	1,230円	ケース数 5	6,150円		
6	ぶどう	1,640円	ケース数 11	18,040円		
7						
8						
9	小計		60,110円			
10	割引率8%		割引額	4,809円		
11	お支払金額		55,301円			
12						

(05) 次のような計算表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		走行距離	稼働日数	1日あたり距離	使用燃料	1日あたりの走行距離		
3	レンタカー1	3,875km	14日	約 277km	482ℓ	約 8.04km		
4	レンタカー2	749km	8日	約 94km	62ℓ	約 12.08km		
5	レンタカー3	46,879km	450日	約 104km	3,346ℓ	約 14.01km		
6	レンタカー4	4,531km	59日	約 77km	683ℓ	約 6.63km		
7								

## 第02章:ユーザー定義の表示形式:2(日付)

### 02章01節…文字列の表示形式

(01) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		名前	誕生日	
3		池田	1977/5/8	
4		安川	1993/12/31	
5		沢	2001/4/8	
6		野々村	2019/10/4	
7		木村	1965/1/24	
8				
9				

(02) [名前]が入力済みである B 列の各文字データのあとに、「様」を追加した状態で表示するよう設定してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

B3:B8 を選択して[セルの書式設定]【表示形式】

{Ctrl}+[1]キーや、[数値の書式・その他の表示形式]を使う

(03) 数字の位置は「0」や「#」で指定しましたが、文字の位置は半角の「@」で指定します。  
【表示形式】タブの[ユーザー定義][種類]より表示形式を「@"様"」としましょう。

[ユーザー定義]の[種類]欄に「@"様"」を設定

「@」は半角で入力

(04) 名前欄が「〇〇様」となりました。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	1977/5/8				
4		安川様	1993/12/31				
5		沢様	2001/4/8				
6		野々村様	2019/10/4				
7		木村様	1965/1/24				
8							
9							

## 02章02節…日付の表示形式

(01) C列の日付データは、1桁と2桁の月・日が混ざっているので揃っていません。  
次は「1977/05/08」のように、9以下(1桁)の月や日を2桁で表示する状態に変更してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログの【表示形式】タブを出してください。

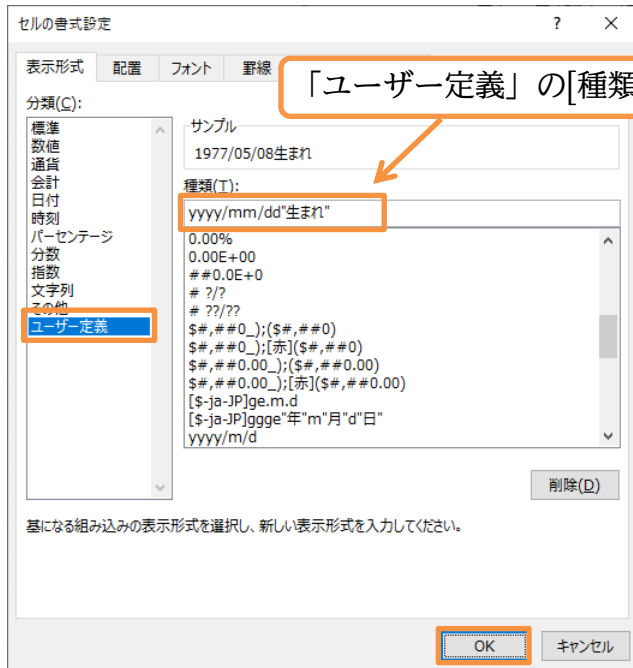
	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	1977/5/8				
4		安川様	1993/12/31				
5		沢様	2001/4/8				
6		野々村様	2019/10/4				
7		木村様	1965/1/24				
8							
9							
10							

(02) [西暦4桁表示]は「yyyy」であらわします。[月2桁表示]は「mm」・[日2桁表示]は「dd」です。1桁表示はそれぞれ「m」「d」となります。ここでは「ユーザー定義」の[種類]を「yyyy/mm/dd」としてOKしましょう。

(03) C列の表示が、「西暦4桁/月2桁/日2桁」となりました。  
さらに表示形式を変更します。「～生まれ」とする予定です。  
選択したまま[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	1977/05/08				
4		安川様	1993/12/31				
5		沢様	2001/04/08				
6		野々村様	2019/10/04				
7		木村様	1965/01/24				
8							
9							

(04) 表示形式記号のあとに「"生まれ"」を付けOKしましょう。



(05) 修正が完了しました。列幅はその都度調整してください。

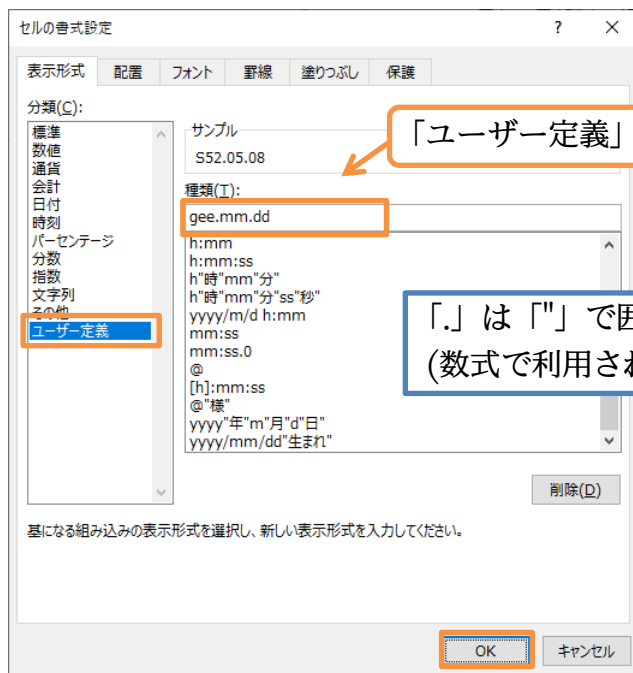
	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	1977/05/08生まれ				
4		安川様	1993/12/31生まれ				
5		沢様	2001/04/08生まれ				
6		野々村様	2019/10/04生まれ				
7		木村様	1965/01/24生まれ				
8							
9							
10							

## 02章03節…元号と和暦年の書式記号

(01) 「西暦 4 桁」の部分「S52」のように「元号+和暦年」へと変更してみます。  
 選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	1977/05/08生まれ				
4		安川様	1993/12/31生まれ				
5		沢様	2001/04/08生まれ				
6		野々村様	2019/10/04生まれ				
7		木村様	1965/01/24生まれ				
8							
9							
10							

- (02) 「西暦 4 桁」は「yyyy」であらわしました。「S」「H」のような「アルファベットの元号付き」は「g」であらわします。また「52」のような「和暦の年」は「e」であらわします。強制 2 桁なら「ee」です。[種類]を「gee.mm.dd」にして OK してください。「/」は「.」に置き換えます。

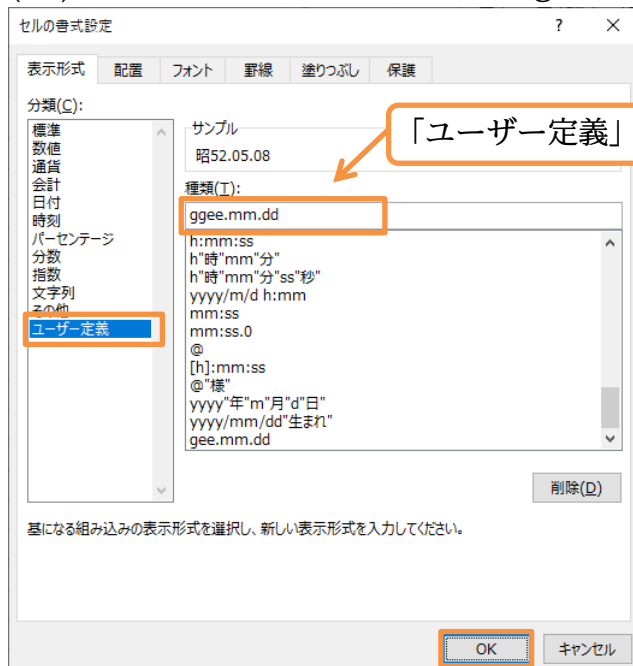


- (03) 和暦で表示されました。さて元号の「g」を「gg」とすると漢字 1 字の元号になります。変更してみましょう。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	S52.05.08				
4		安川様	H05.12.31				
5		沢様	H13.04.08				
6		野々村様	R01.10.04				
7		木村様	S40.01.24				
8							
9							

C3:C8 を選択して[セルの書式設定]【表示形式】

- (04) 元号を漢字 1 字に変更します。「g」を「gg」として OK してください。



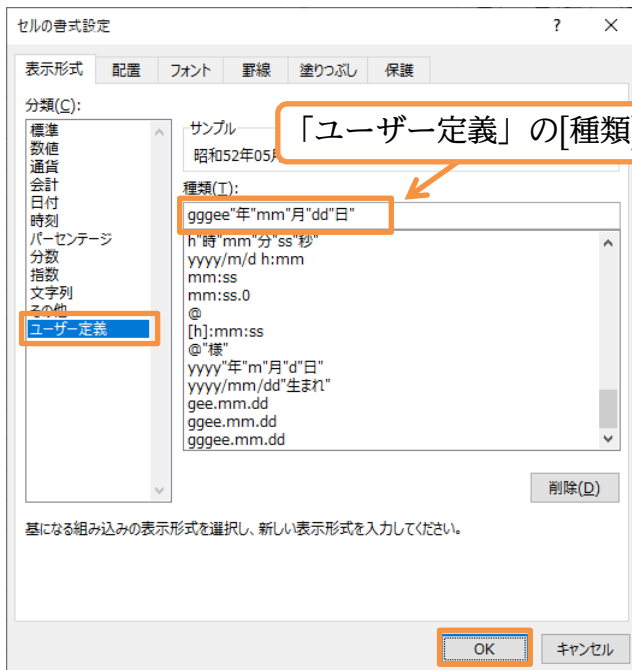


- (05) 元号の部分が1文字の漢字で表されました。今度は元号部に「ggg」を使ってみます。  
[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		名前	誕生日						
3		池田様	昭52.05.08						
4		安川様	平05.12.31						
5		沢様	平13.04.08						
6		野々村様	令和01.10.04						
7		木村様	昭和40.01.24						
8									
9									
10									

C3:C8 を選択して[セルの書式設定]【表示形式】

- (06) 「ggg」を日付データに対して使うと、「平成」のような漢字2字の元号が表示されるようになります。「gg」の部分を「ggg」に変更してください。  
また「.」の代わりに「年・月・日」を入れてみます。



- (07) うまくいったようです。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	昭和52年05月08日				
4		安川様	平成05年12月31日				
5		沢様	平成13年04月08日				
6		野々村様	令和01年10月04日				
7		木村様	昭和40年01月24日				
8							
9							
10							

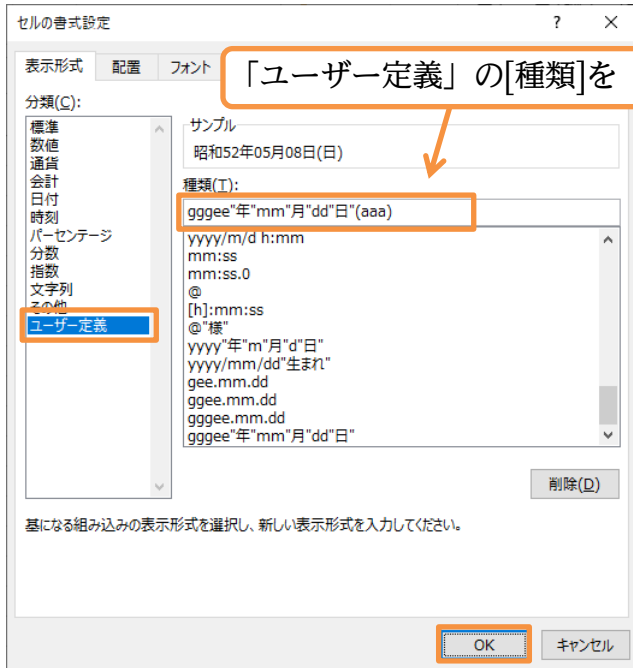
## 02章04節…曜日の書式記号

- (01) C列の日付セル群に「曜日」を表示させてみます。  
選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	誕生日				
3		池田様	昭和52年05月08日				
4		安川様	平成05年12月31日				
5		沢様	平成13年04月08日				
6		野々村様	令和01年10月04日				
7		木村様	昭和40年01月24日				
8							
9							
10							

セル C3:C8 を選択してから  
[セルの書式設定]へ

(02) 曜日を表示させる書式記号は「aaa」です。「木」のように漢字 1 字で曜日が表示されま  
す。現在の日付データのあとで「(木)」のように表示させます。「(aaa)」を追加するの  
です。以下のように[種類]を変更してください。

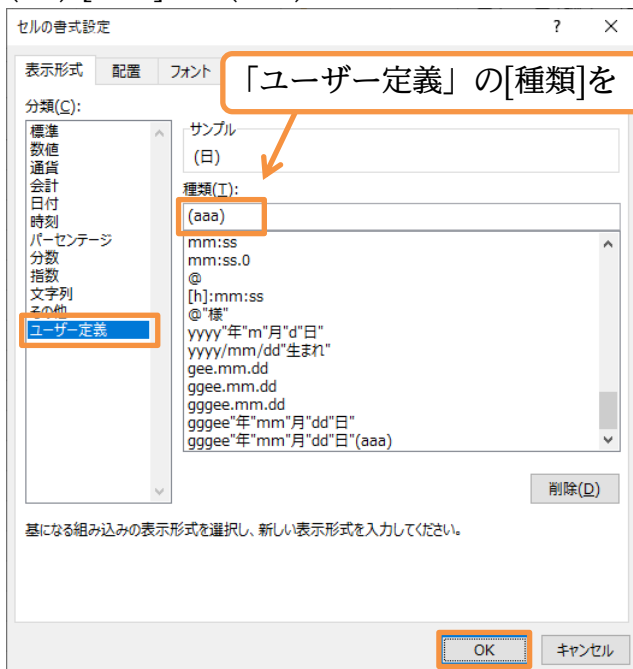


(03) 日付データのあとにカッコ付きで曜日を表示させることができました。  
なお「日付」を表示させずに「曜日」だけを表示させることもできます。  
選択して[セルの書式設定]ダイアログを出してください。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		名前	誕生日			
3		池田様	昭和52年05月08日(日)			
4		安川様	平成05年12月31日(金)			
5		沢様	平成13年04月08日(日)			
6		野々村様	令和01年10月04日(金)			
7		木村様	昭和40年01月24日(日)			
8						
9						

C3:C8 を選択して[セルの書式設定]【表示形式】

(04) [種類]を「(aaa)」だけにしてしまいましょう。日付データは隠れて見えなくなります。



- (05) うまくいったようです。なお[日付]データは消えたわけではありません。隠れているだけです。数式バーを見れば日付データが残っていることがわかります。確認後は[元に戻す]ボタンで元の状態に戻し、和暦を含む日付・曜日データが表示されるようにしてください。

	A	B	C	D
1				
2		名前	誕生日	
3		池田様	(日)	
4		安川様	(金)	
5		沢様	(日)	
6		野々村様	(金)	
7		木村様	(日)	
8				
9				
10				

曜日だけが表示されるが格納されている日付データは数式バーで確認できる。確認後は[元に戻す]。

- (06) 8行目で名前と日付の入力テストをしてください。

日付は「yy/m/d」「ge/m/d」「ge.m.d」など様々な形式で入力できます。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		名前	誕生日			
3		池田様	昭和52年05月08日(日)			
4		安川様	平成05年12月31日(金)			
5		沢様	平成13年04月08日(日)			
6		野々村様	令和01年10月04日(金)			
7		木村様	昭和40年01月24日(日)			
8		村山様	s27/11/9			
9						

8行目で名前と日付の入力テスト  
(例：村山・s27/11/9)

- (07) 入力した日付データを数式バーで確認します。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		名前	誕生日			
3		池田様	昭和52年05月08日(日)			
4		安川様	平成05年12月31日(金)			
5		沢様	平成13年04月08日(日)			
6		野々村様	令和01年10月04日(金)			
7		木村様	昭和40年01月24日(日)			
8		村山様	昭和27年11月09日(日)			
9						

## 02章05節…セルにコメント・メモを入れる

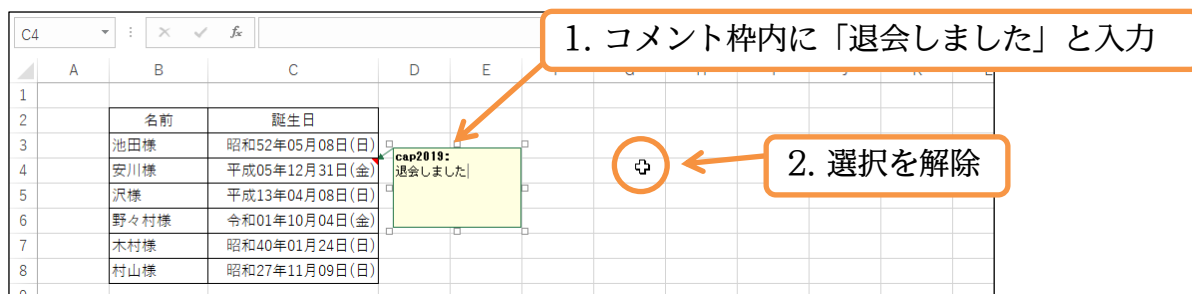
- (01) [コメント]を使うとセルにメモ書きをすることができます。セルC4にコメントをしてみます。アクティブにして【校閲】タブから[新しいコメント]をクリックしましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		名前	誕生日									
3		池田様	昭和52年05月08日(日)									
4		安川様	平成05年12月31日(金)									
5		沢様	平成13年04月08日(日)									
6		野々村様	令和01年10月04日(金)									
7		木村様	昭和40年01月24日(日)									
8		村山様	昭和27年11月09日(日)									
9												

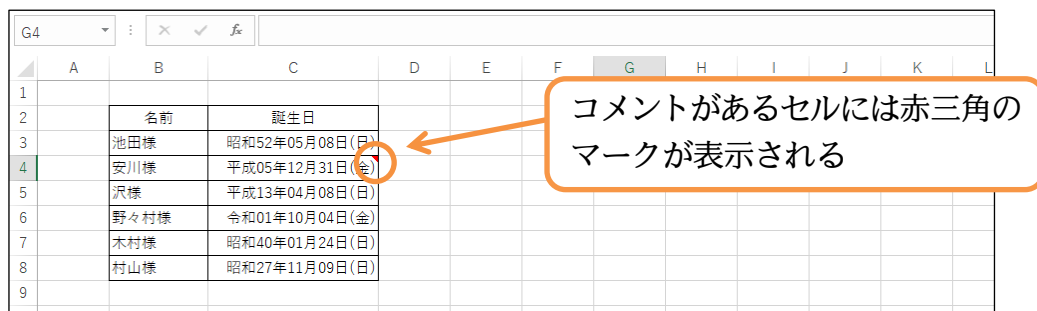
2. 【校閲】タブから[新しいコメント]をクリック

1. セルC4を選択

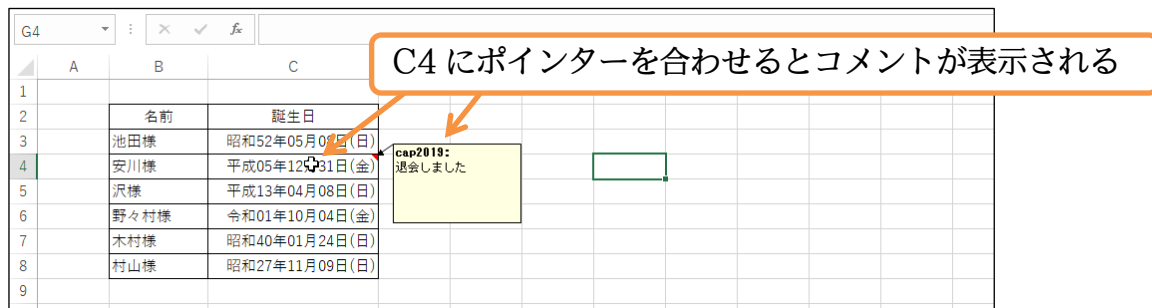
(02) コメント枠が表示されます。枠内に「退会しました」と入力しましょう。  
入力後は選択を解除します。



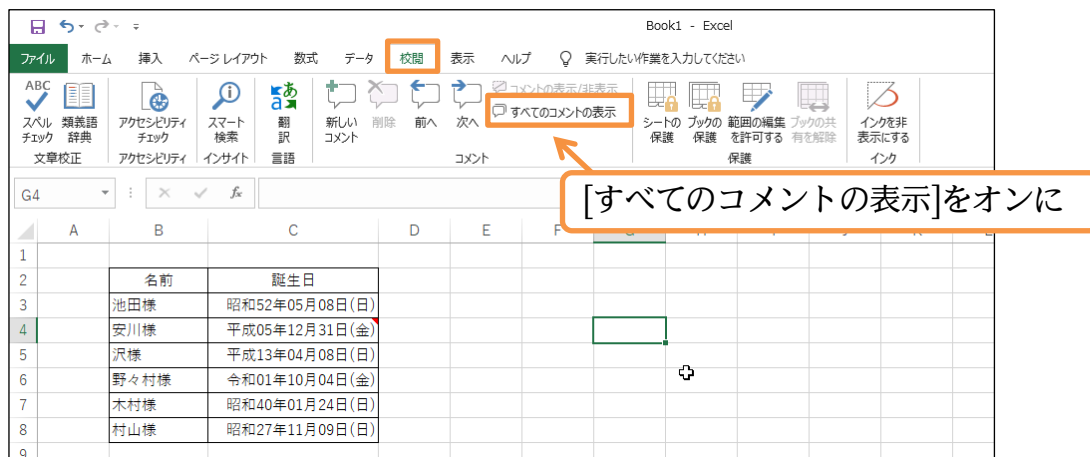
(03) 選択を解除するとコメントは表示されなくなります。  
ただしコメントが設定されているセルの右側に赤三角が表示されます。



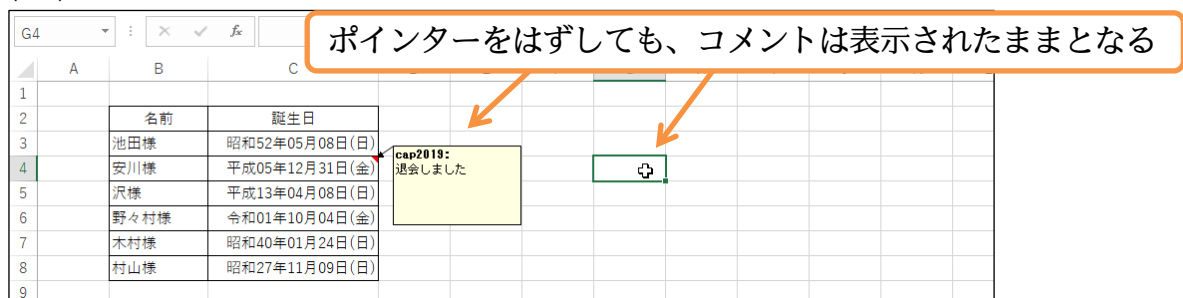
(04) コメントが登録されているセル C4 にマウスポインターを合わせてみましょう。  
セルにポインターを合わせると登録されているコメントが表示されます。



(05) なお[すべてのコメントの表示]をオンにすると、ポインターをはずしてもコメントが表示されるようになります。オンにしてみましょう。

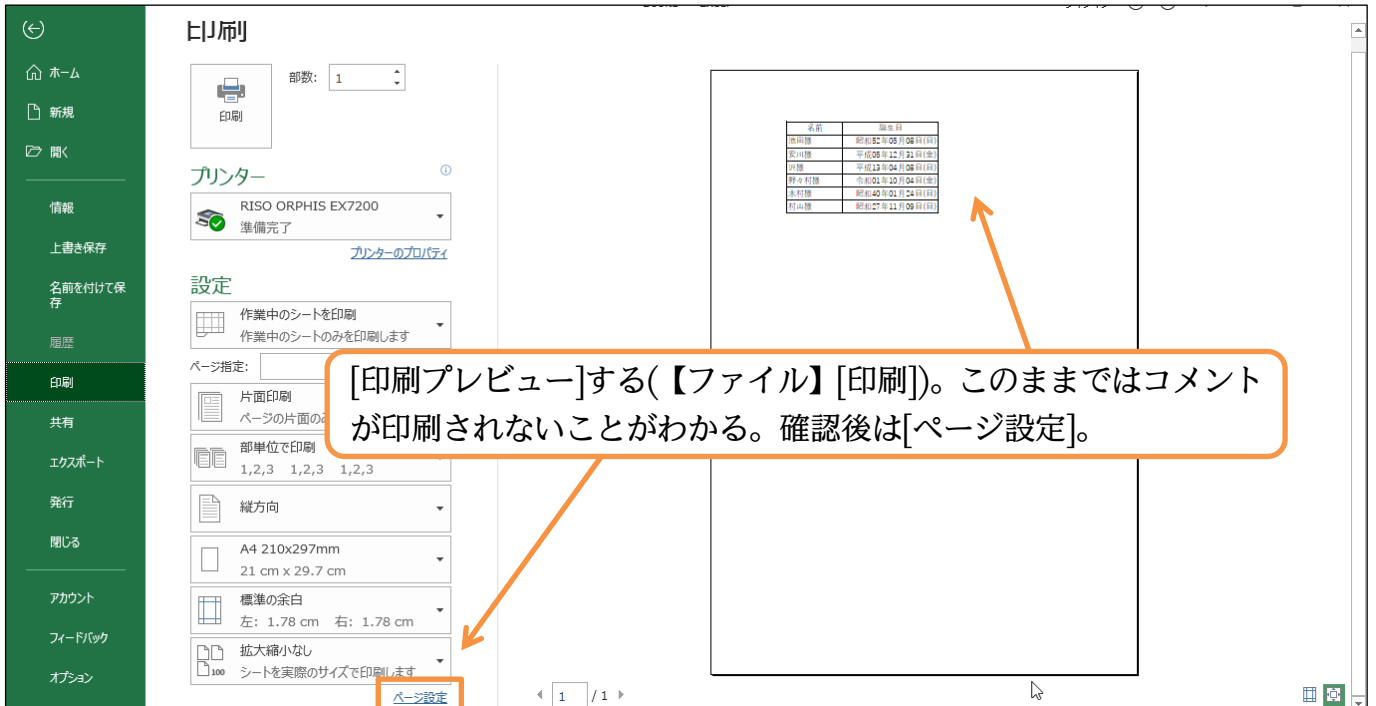


(06) ポインターが無関係な場所にあってもコメントが表示されるようになります。

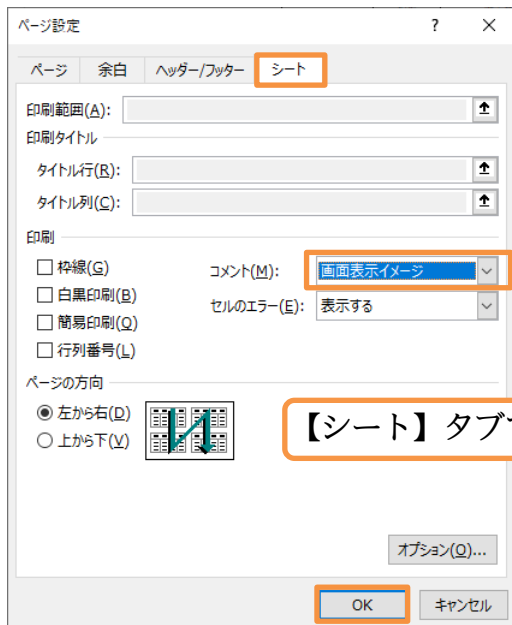


## 02章06節…コメントを印刷対象とする

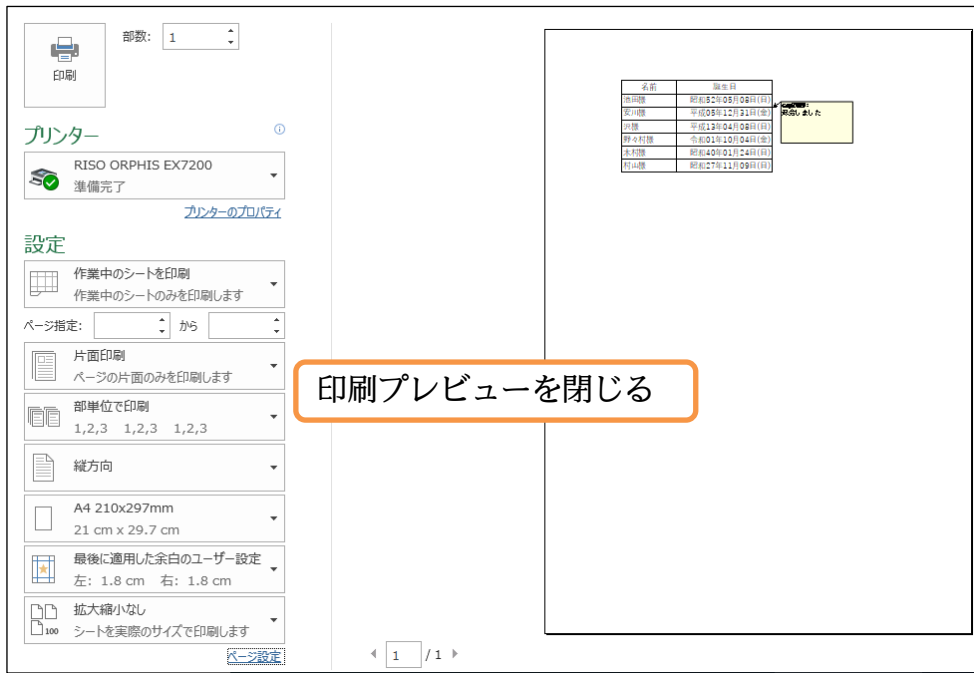
(01) [印刷プレビュー]しましょう。コメントは印刷対象となっていないことがわかります。コメントを印刷させるには[ページ設定]ダイアログボックスから設定します。



(02) 【シート】タブで[コメント]を「画面表示イメージ」にします。この設定をするとコメントが印刷対象となるのです。



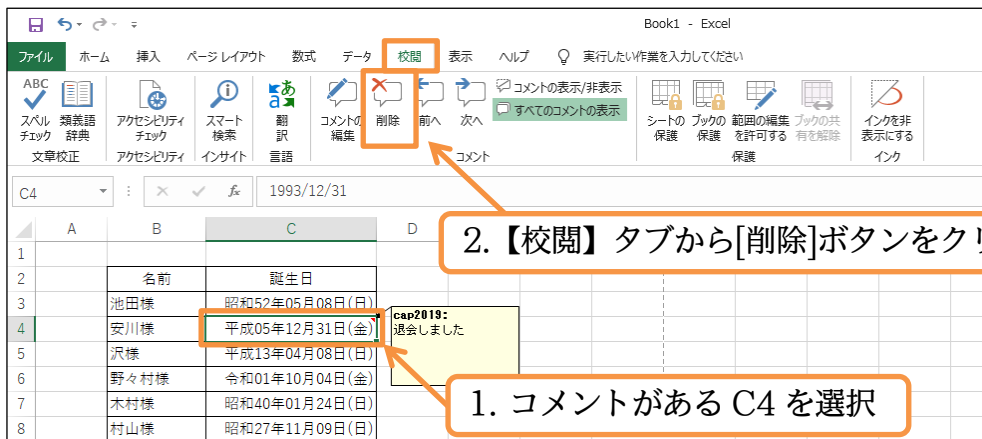
(03) コメントが印刷対象となりました。確認後は印刷プレビューを閉じます。



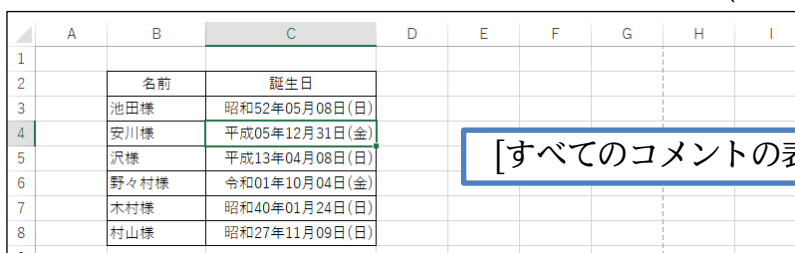
## 02章07節…コメントの削除

(01) セル C4 にあるコメントを削除します。

選択して【校閲】タブにある[削除]ボタンをクリックしてください。



(02) C4 にあったコメントが削除されました。[すべてのコメントの表示]はオフにしておいてください。完成後はこのファイルを閉じましょう(必要に応じて保存)。




## 02章08節…まとめ

- ◆ 文字の位置をあらわす書式記号は半角の「@」です。
- ◆ 西暦 4 桁の年をあらわす書式記号は「yyyy」です。和暦元号においては「g」「gg」「ggg」のいずれかを用います。和暦の年の部分は「e」「ee」を用います。
- ◆ 月をあらわす書式記号は「m」「mm」、日をあらわす書式記号は「d」「dd」です。
- ◆ 曜日をあらわす書式記号は「aaa」です。
- ◆ セルには[コメント]を設定することができます。コメントの印刷は、オン/オフを切り替えられます。

02章09節…練習問題

(01) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		出勤日	稼働時間	
3		2019/8/4	4	
4		2019/8/9	5.5	
5		2019/8/13	6	
6		2019/8/18	7	
7		2019/8/25	5	
8		2019/8/26	6	
9		2019/8/27	7	
10		2019/8/30	4	
11				
12		総稼働時間	44.5	
13				

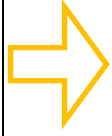


	A	B	C	D
1				
2		出勤日	稼働時間	
3		08/04(日)	4.0時間	
4		08/09(金)	5.5時間	
5		08/13(火)	6.0時間	
6		08/18(日)	7.0時間	
7		08/25(日)	5.0時間	
8		08/26(月)	6.0時間	
9		08/27(火)	7.0時間	
10		08/30(金)	4.0時間	
11				
12		総稼働時間	44.5時間	
13				


(02) 左のような表を作成し右のように変更しましょう。

またセル C5 にコメントを入れ、コメントが印刷されるようにします。

	A	B	C	D
1				
2		教官名	生年月日	
3		川崎	1971/3/6	
4		井之上	1955/11/3	
5		星	1963/4/22	
6		黒川	1992/10/25	
7				



	A	B	C	D
1				
2		教官名	生年月日	
3		川崎 教官	昭和46年3月6日生まれ	
4		井之上 教官	昭和30年11月3日生まれ	
5		星 教官	昭和38年4月22日生まれ	
6		黒川 教官	平成4年10月25日生まれ	
7				



	A	B	C	D
1				
2		教官名	生年月日	
3		川崎 教官	昭和46年3月6日生まれ	
4		井之上 教官	昭和30年11月3日生まれ	
5		星 教官	昭和38年4月22日生まれ	
6		黒川 教官	平成4年10月25日生まれ	
7				


edit-2019:  
転居されました

(印刷プレビューで確認)

(03) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。

C 列には B 列と同じデータが入っています(「=B3」などの式)。

	A	B	C	D
1				
2		日付A	日付B	
3		1984/5/7	1984/5/7	
4		1933/4/21	1933/4/21	
5		1924/11/9	1924/11/9	
6		1965/10/22	1965/10/22	
7				



	A	B	C	D
1				
2		日付A	日付B	
3		S59年05月07日	月曜日	
4		S08年04月21日	金曜日	
5		T13年11月09日	日曜日	
6		S40年10月22日	金曜日	
7				

## 02章10節…[参考資料]: 表示形式記号一覧表

No.	対象		意味	例
1	数値	0	数字(0も表示)	0⇒0 1234⇒1234 1.1⇒1
2	数値	0.00	小数2桁まで表示	0⇒0.00 1234⇒1234.00 1.1⇒1.10
3	数値	000	数字(0も表示)	0⇒000 1234⇒1234 5⇒005
4	数値	#,##0	3桁区切りカンマ	1234⇒1,234
5	数値	#,##0,	百の位以下非表示	1234567⇒1,234
6	数値	#	数字(0は省略)	0⇒空白 1234⇒1234 1.1⇒1
7	数値	0%	倍率を%表記に	1.2⇒120% 0.06⇒6% 0.015⇒2%
8	数値	0.0%	小数1桁まで表示	1.2⇒120.0% 0.06⇒6.0% 0.015⇒1.5%
9	文字列	@	文字データ	山⇒山
10	日付	yy	西暦2桁	1957/12/06⇒57
11	日付	yyyy	西暦4桁	1957/12/06⇒1957
12	日付	ge	和暦(H3)	1991/12/06⇒H3
13	日付	gge	和暦(平3)	1991/12/06⇒平3
14	日付	ggge	和暦(平成3)	1991/12/06⇒平成3
15	日付	gggee	和暦(平成03)	1991/12/06⇒平成03
16	日付	m	月1桁	2001/02/06⇒2
17	日付	mm	月2桁	2001/02/06⇒02
18	日付	d	日1桁	2001/01/06⇒6
19	日付	dd	日2桁	2001/01/06⇒06
20	日付	aaa	曜日	2001/11/30⇒金
21	日付	aaaa	曜日(+曜日)	2001/11/30⇒金曜日
22	時刻	h	時刻1桁	04:06:03⇒4 26:43:08⇒02
23	時刻	hh	時刻2桁	04:06:03⇒04
24	時刻	[h]	24時間以上	26:43:08⇒26
25	時刻	m	分1桁	04:06:03⇒6
26	時刻	mm	分2桁	04:06:03⇒06
27	時刻	s	秒1桁	04:06:03⇒3
28	時刻	ss	秒2桁	04:06:03⇒03
29	分数	#/#	全てを分数	1.5⇒3/2
30	分数	#/4	分母を4に固定	1.5⇒6/4
31	分数	##/#	帯分数	1.5⇒1 1/2

文字データは「"」で囲みます。「1250」を「1,250 人」と表示したい場合には「#,##0"人"」とします。

- ◆ 半角の「%」を付けると小数値が100倍になった状態で表示されます。
- ◆ 半角の「+」「-」「/」「(」「)」 「¥」「」は、「"」で囲む必要はありません。
- ◆ Access の場合は「分」に"n"を使います。



## 第03章:ユーザー定義の表示形式:3(文字と時刻)

### 03章01節…文字データの作成.「'」引用符の利用

(01) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井				
4		5347	東	森				
5		7341	東	青木				
6		2576	東	細田				
7			西	林				
8			西	平山				
9			西	和田				
10			西	斉藤				
11								

(02) 続けてセル B7 に「0057」と入力します。

B7に「0057」と入力

(03) しかし数値へ変換されてしまい「57」となってしまいます。一旦消去してください。

B7は削除

(04) 数値変換されないようにするには、先頭に半角の引用符「'」を入力してからデータを入力します。B7に「'0057」と入力しましょう。「0057」が文字列扱いになります。

B7に「'0057」と入力

(05)「0057」が文字データとしてセルに格納されました。これは集計対象になりません。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井				
4		5347	東	森				
5		7341	東	青木				
6		2576	東	細田				
7		0057	西	林				
8			西	平山				
9			西	和田				
10			西	斉藤				

初期状態において[文字]データは左揃え、[数値・日付・時刻]データは右揃えになる。違いは集計対象になるかならないか。[文字]は、SUMなどの集計関数の対象にならないので注意(足し算などには利用可能)。

### 03章02節…文字データ入力時に先に表示形式を設定しておく

(01)B8:B10にも数値タイプの文字データを入力します。しかし都度「」を入力するのは面倒です。そこで事前に「文字列」の表示形式を設定します。すると数値タイプの値を入力した際に、文字データとして扱えるよう変換してくれるのです。

今回はB3:B10の範囲に対して「文字列」の設定をします。

1. B3:B10 を選択

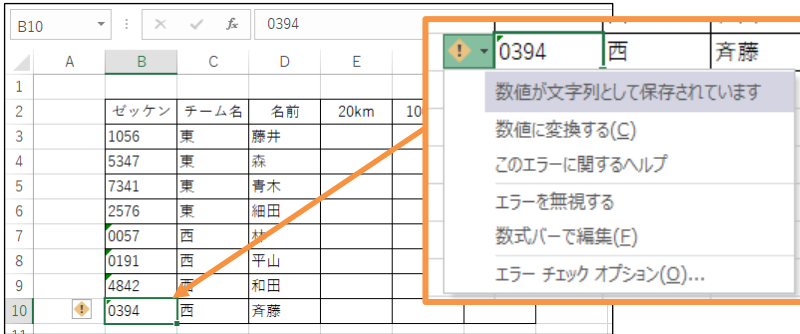
2. 表示形式を「文字列」に

(02)設定後はセル B8 に「0191」と入力しましょう。「文字列」として入力されます。なお入力後にアクティブにしてから数式バーを確認すれば「191」ではなく「0191」で値が格納されたことがわかります。

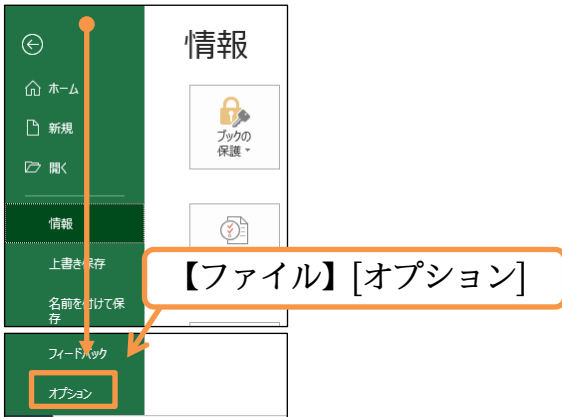
	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井				
4		5347	東	森				
5		7341	東	青木				
6		2576	東	細田				
7		0057	西	林				
8		0191	西	平山				
9			西	和田				
10			西	斉藤				

セル B8 に「0191」と入力。  
入力後は数式バーをチェック。

(03)続けて B9 に「4842」、B10 に「0394」と入力しましょう。  
 さて、数値形式の文字列を入力すると注意が促されます。  
 そのままでもよいのですが、この表示を消すことも可能です。



(04)【ファイル】タブから[オプション]の設定をします。



(05)【数式】 [エラーチェック][バックグラウンドでエラーチェックを行う]のチェックか、[エラーチェックルール][文字列形式の数値、またはアポストロフィで始まる数値]のチェックを解除すると注意表示がなくなります。今回はそのままにして画面を[キャンセル]しましょう。



## 03章03節…時刻の表示形式 1・時：分

(01) セル F3 に時刻データ「9:44(9 時間 44 分)」を入力します。  
「時：分」の形式で入力します。「:」は半角で入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井		9:44		
4		5347	東	森				
5		7341	東	青木				
6		2576	東	細田				
7		0057	西	林				
8		0191	西	平山				
9		4842	西	和田				
10		0394	西	斉藤				

セル F3 に半角で「9:44」を入力

(02) 数式バーで F3 に格納した値を確認しましょう。「9:44:00」となっています。  
自動的に「秒」の情報が「00 秒」扱いで格納されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井		9:44		
4		5347	東	森				
5		7341	東	青木				
6		2576	東	細田				
7		0057	西	林				
8		0191	西	平山				
9		4842	西	和田				
10		0394	西	斉藤				

あとで秒の情報を表示させることもできる。  
その場合は「表示形式」を調整する。

(03) 続けて「14:18」「12:3」「12:03」と入力します。さらに「14:」と入力します。すると「14:00」  
で取り扱われます。「時:」とすれば「分」を省略できるのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井		9:44		
4		5347	東	森		14:18		
5		7341	東	青木		12:03		
6		2576	東	細田		14:		
7		0057	西	林				
8		0191	西	平山				
9		4842	西	和田				
10		0394	西	斉藤				

「14:18」  
「12:3」  
「14:」と入力

(04) セル F6 は「14:00」となりました。続けて「17:25・9:33・15:15・9:55」と入力して  
ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井		9:44		
4		5347	東	森		14:18		
5		7341	東	青木		12:03		
6		2576	東	細田		14:00		
7		0057	西	林		17:25		
8		0191	西	平山		9:33		
9		4842	西	和田		15:15		
10		0394	西	斉藤		9:55		

「17:25」  
「9:33」  
「15:15」  
「9:55」と入力

## 03章04節…時刻の表示形式 2・時：分：秒

(01) 「秒」を省略しないのであれば「時：分：秒」の形式で入力します。

セル E3 に「1:35:14」と入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14			
4		5347	東	森		14:18		
5		7341	東	青木		12:03		
6		2576	東	細田		14:00		
7		0057	西	林		17:25		
8		0191	西	平山		9:33		
9		4842	西	和田		15:15		
10		0394	西	斉藤		9:55		

セル E3 に半角で「1:35:14」を入力

(02) 続けて以下のように入力しましょう。「A:B」とすれば「時：分」の表示ですが

「時：分：00 秒」扱いとなります。「1:51」は「1:51:00」で扱われます。

表示形式はあとで統一できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44		
4		5347	東	森	2:00:08	14:18		
5		7341	東	青木	1:51	12:03		
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00		
7		0057	西	林	2:40:40	17:25		
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33		
9		4842	西	和田	2:24	15:15		
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55		

1:35:14
2:0:8
1:51
2:15:36
2:44:40
1:54:56
2:24
1:37:1

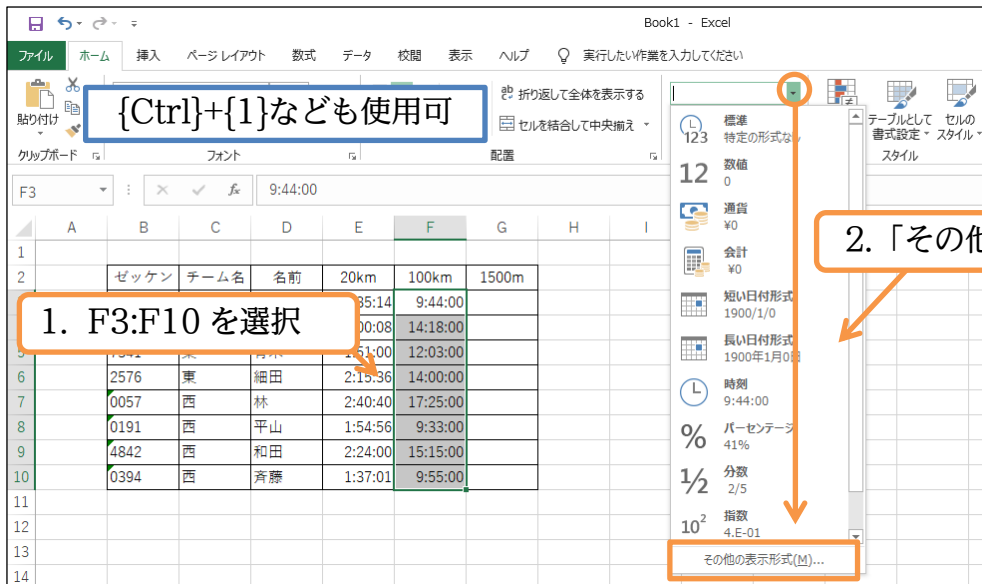
(03) E列とF列の表示形式を統一させます。

選択してから「時刻」の表示形式を適用してください。

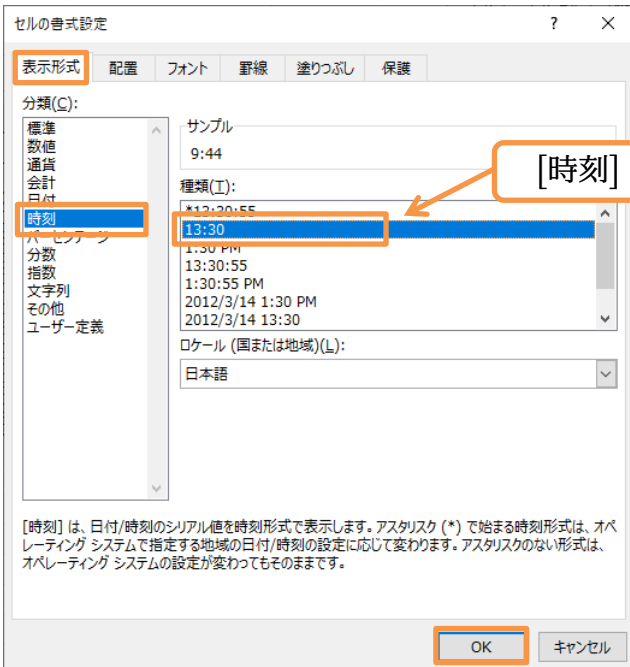
1. E3:F10 を選択

2. 表示形式を「時刻」に

(04) 表示形式が「時：分：秒」に統一されました。続けてF列の表示形式を「時：分」に戻します。選択して表示形式の設定画面へ進んでください。



(05) [時刻]「13:30」の形式を選択してOKしましょう。



(06) 「時：分：秒」以外の表示形式は[セルの書式設定・表示形式]で設定するのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44		
4		5347	東	森	2:00:08	14:18		
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03		
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00		
7		0057	西	林	2:40:40	17:25		
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33		
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15		
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55		
11								

### 03章05節…時刻のユーザー定義表示形式・分：秒

(01) G 列には「分と秒」だけを入力します。その場合は「時」に「0」を指定する必要があります。G3 に半角で「0:6:44」を入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:6:44	
4		5347	東	森	2:00:08	14:18		
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03		
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00		
7		0057	西	林	2:40:40	17:25		
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33		
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15		
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55		

G3 に半角で「0:6:44」を入力

「時・分」は省略できない

(02) 「分・秒」には「2桁」の表示形式が適用されます。続けて「0:8:0」と入力しましょう。自動的に「00秒」の表示形式が適用されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:06:44	
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	0:8:0	
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03		
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00		
7		0057	西	林	2:40:40	17:25		
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33		
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15		
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55		

G4 に半角で「0:8:0」を入力

「0:8」と、「秒」を省略した状態で入力してから  
後で表示形式を変更してもよい

(03) 「1500m」における残りの時間情報を入力してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:06:44	
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	0:08:00	
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	0:07:20	
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	0:09:55	
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	0:11:08	
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	0:07:55	
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	0:09:42	
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55	0:06:49	

0:6:44  
0:8:0  
0:7:20  
0:9:55  
0:11:8  
0:7:55  
0:9:42  
0:6:49

(04) ここで「時」の部分为非表示にします。選択して表示形式の設定画面へ進んでください。

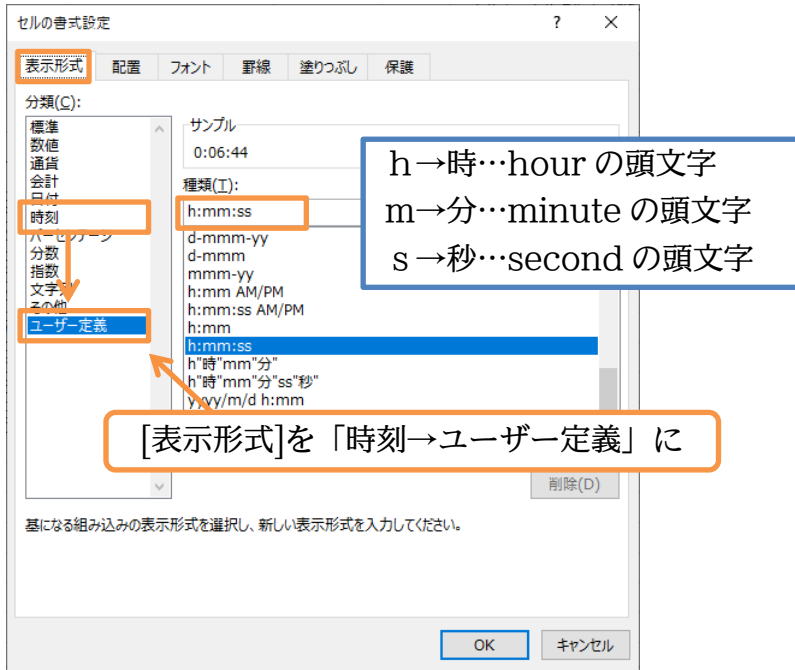
	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	0:06:44	
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	0:08:00	
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	0:07:20	
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	0:09:55	
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	0:11:08	
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	0:07:55	
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	0:09:42	
10		0394	西	斉藤	1:37:01	9:55	0:06:49	

1. H3:H10 を選択

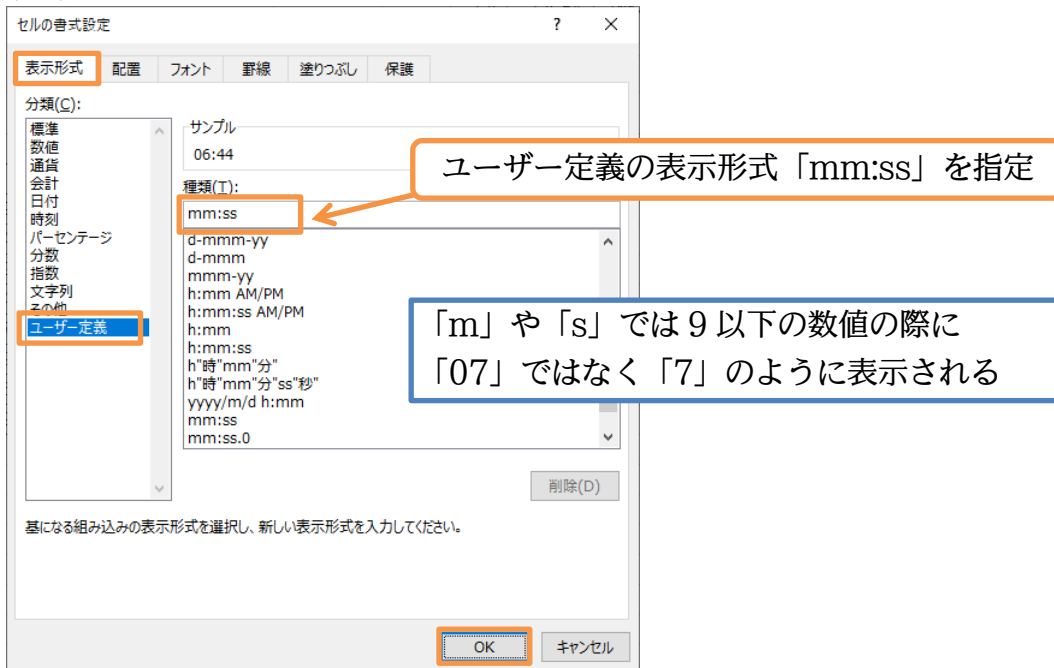
2. 表示形式設定画面へ

(05) [表示形式]を「時刻→ユーザー定義」に変更して[種類]を確認してください。

時は「h」、分は「m」、秒は「s」です。常時2桁表示させる場合は記号を重ねます。半角の「:」は時刻を分ける記号であり、「"」で囲む必要はありません。



(06) 詳細な設定はユーザー定義を利用します。今回は「mm:ss」を指定・OKしましょう。



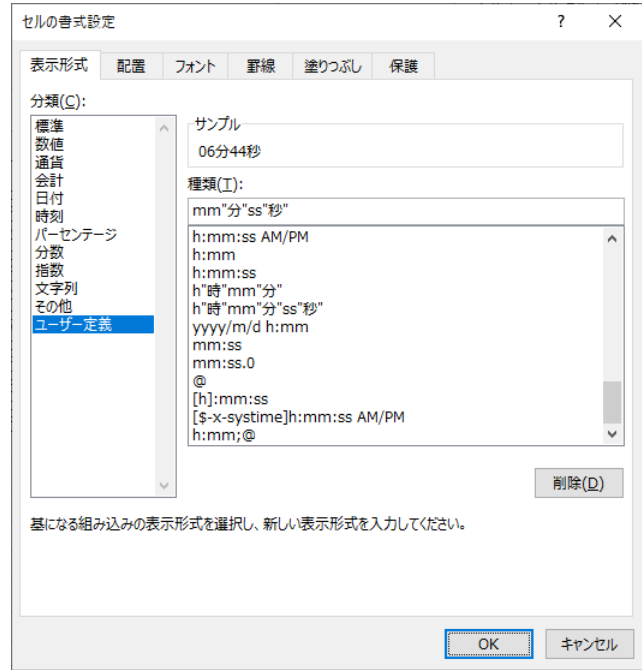
(07) 「時」の情報が非表示になりました。ただし数式バーから「時」の情報が確認できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	06:44	
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	08:00	
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	07:20	
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	09:55	
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	11:08	
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	07:55	
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	09:42	
10		0394	西	斎藤	1:37:01	9:55	06:49	
11								



(08) 練習です。G 列の時刻が「06 分 44 秒」のように表示されるよう設定してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m	
3		1056	東	藤井	1:35:14	9:44	06分44秒	
4		5347	東	森	2:00:08	14:18	08分00秒	
5		7341	東	青木	1:51:00	12:03	07分20秒	
6		2576	東	細田	2:15:36	14:00	09分55秒	
7		0057	西	林	2:40:40	17:25	11分08秒	
8		0191	西	平山	1:54:56	9:33	07分55秒	
9		4842	西	和田	2:24:00	15:15	09分42秒	
10		0394	西	斎藤	1:37:01	9:55	06分49秒	
11								



03章06節…24 時間・60 分・60 秒を超える表示

(01) 引き続き時刻に関する表示形式を学習します。「100km」走における「東チーム/西チーム」内の各 4 名の合計タイムを「小計」機能を使って集計します。  
リスト内をアクティブにして【データ】[小計]を使いましょう。

1. リスト内をアクティブに

2. 【データ】[小計]

「チーム単位」で集計する場合には「チーム名」をキーとして並べ替えが完了していなければならない。  
この表は並べ替えが完了している。

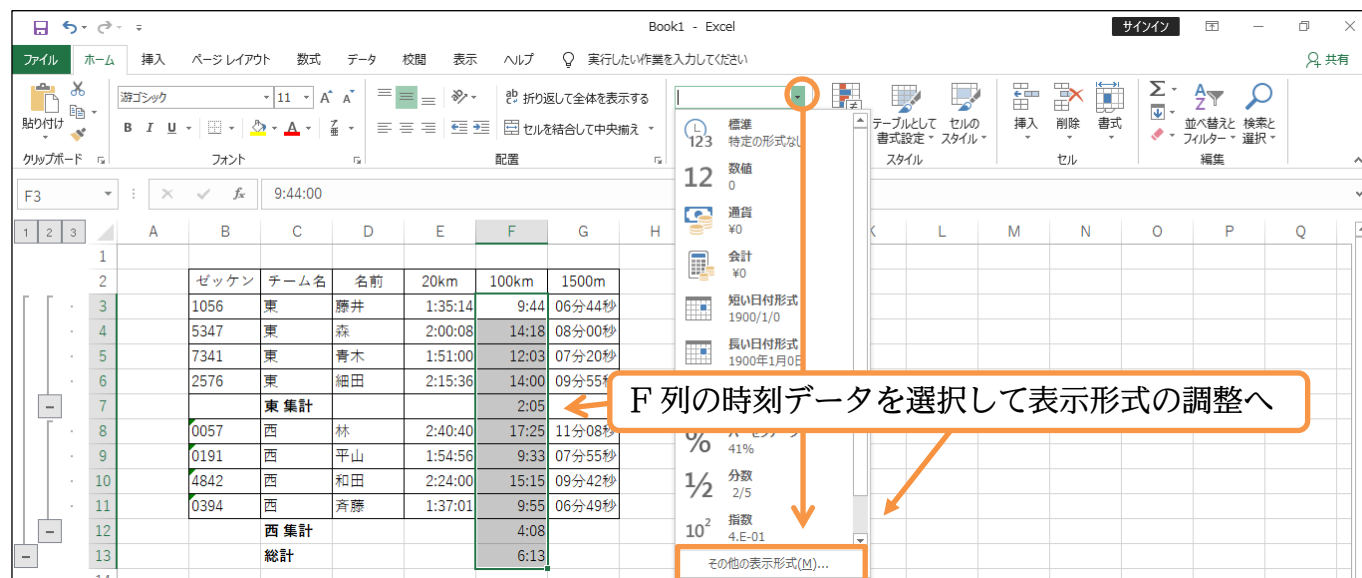
(02) チーム単位で集計します。[グループの基準]は「チーム名」、[集計するフィールド]は「100km」「合計」として OK しましょう。

1. [グループの基準]は「チーム名」に

2. [集計するフィールド]は「100km」に

3. [集計の方法]は「合計」に

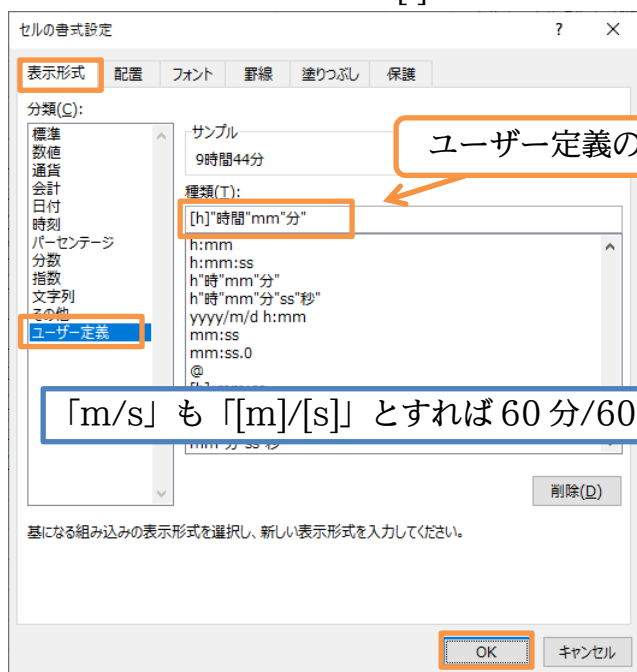
(03) 「東 集計・西 集計・総計」のように集計欄は作成されましたが、適切な表示とはなっていません。「24 時間」を超えた集計部分において不適切な表示が発生しています。Excel の標準設定では「50 時間」が「24 時間×2 日と 2 時間」に分離され、その「2 時間・2:00」しか表示されないのです。24 時間でカウンターが 1 周してしまうのです。24 時間後も引き続き表示させるには表示形式の調整が必要となります。



(04) 集計値が「50 時間 05 分」となるようにします。

ユーザー定義の表示形式を「[h]"時間"mm"分」としましょう。

「h」を半角の大カッコ[ ]で囲むと 24 時間を超えてもリセットされません。



(05) 24 時間を超えた時間情報の集計値が適切に表示されました(必要に応じて幅を調整)。完成後はこのファイルを閉じましょう(必要に応じて保存)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		ゼッケン	チーム名	名前	20km	100km	1500m		
3		1056	東	藤井	1:35:14	9時間44分	06分44秒		
4		5347	東	森	2:00:08	14時間18分	08分00秒		
5		7341	東	青木	1:51:00	12時間03分	07分20秒		
6		2576	東	細田	2:15:36	14時間00分	09分55秒		
7			東集計			50時間05分			
8		0057	西	林	2:40:40	17時間25分	11分08秒		
9		0191	西	平山	1:54:56	9時間33分	07分55秒		
10		4842	西	和田	2:24:00	15時間15分	09分42秒		
11		0394	西	斉藤	1:37:01	9時間55分	06分49秒		
12			西集計			52時間08分			
13			総計			102時間13分			

03章07節…まとめ

- ◆ 数値を文字として入力する場合には、先頭に「」を入力しておきます。あるいは「文字列」の表示形式を設定しておきます。
- ◆ ユーザー定義の表示形式において「時」は「h」、「分」は「m」、「秒」は「s」で指定します。常時 2 桁表示させるならば記号を 2 つ重ねます。1 秒以下の時間は「.00」のように指定します。24 時以降の時を表示させるには「[h]」とします。

03章08節…練習問題

①) 問題

(01) PC で円周率計算をさせた際の結果表です。400~1000 万桁の場合は秒まで管理していません。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		CPU	100万桁	400万桁	1000万桁	
3		DP-101	3:13:39	12:52	32:11	
4		DL-007	0:37:08	2:28	6:10	
5		TS-95	0:13:00	0:53	2:13	
6		TY-807	1:05:46	4:23	10:57	
7						

(02) さらに表示形式を変更しましょう。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		CPU	100万桁	400万桁	1000万桁	
3		DP-101	3時間13分39秒	12時間52分	32時間11分	
4		DL-007	0時間37分08秒	2時間28分	6時間10分	
5		TS-95	0時間13分00秒	0時間53分	2時間13分	
6		TY-807	1時間05分46秒	4時間23分	10時間57分	
7						

(03) C 列を分/秒単位にします。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		CPU	100万桁	400万桁	1000万桁	
3		DP-101	193分39秒	12時間52分	32時間11分	
4		DL-007	37分08秒	2時間28分	6時間10分	
5		TS-95	13分00秒	0時間53分	2時間13分	
6		TY-807	65分46秒	4時間23分	10時間57分	
7						

②) 問題…以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H												
1	<table border="1"> <tr> <td>色</td> <td>白</td> <td>黒</td> <td>深緑</td> <td>紺</td> <td>ピンク</td> </tr> <tr> <td>色番号</td> <td>FFFFFF</td> <td>000000</td> <td>006633</td> <td>003366</td> <td>FF0099</td> </tr> </table>								色	白	黒	深緑	紺	ピンク	色番号	FFFFFF	000000	006633	003366	FF0099
色									白	黒	深緑	紺	ピンク							
色番号									FFFFFF	000000	006633	003366	FF0099							
2																				
3																				
4																				

③) 問題…

以下のような計算表を作成してください。5人の選手が長距離走のタイムを計りました。

	A	B	C	D	E	F																												
1	<table border="1"> <tr> <th>順位</th> <th>選手番号</th> <th>クラス</th> <th>タイム</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>8-46</td> <td>3-8</td> <td>2時間18分15秒</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2-17</td> <td>3-2</td> <td>2時間24分27秒</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5-36</td> <td>3-5</td> <td>2時間31分11秒</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11-4</td> <td>3-11</td> <td>2時間55分17秒</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6-8</td> <td>3-6</td> <td>3時間01分02秒</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td colspan="3">2時間38分02秒</td> </tr> </table>						順位	選手番号	クラス	タイム	1	8-46	3-8	2時間18分15秒	2	2-17	3-2	2時間24分27秒	3	5-36	3-5	2時間31分11秒	4	11-4	3-11	2時間55分17秒	5	6-8	3-6	3時間01分02秒	平均	2時間38分02秒		
順位							選手番号	クラス	タイム																									
1							8-46	3-8	2時間18分15秒																									
2							2-17	3-2	2時間24分27秒																									
3							5-36	3-5	2時間31分11秒																									
4							11-4	3-11	2時間55分17秒																									
5							6-8	3-6	3時間01分02秒																									
平均							2時間38分02秒																											
2																																		
3																																		
4																																		
5																																		
6																																		
7																																		
8																																		
9																																		
10																																		

④) 問題…

以下のような計算表を作成してください。8/1～8/7の勤務時間計算表です。

	A	B	C	D	E	F																								
1	<table border="1"> <tr> <th>日付</th> <th>出勤時刻</th> <th>退勤時刻</th> <th>勤務時間</th> </tr> <tr> <td>2019/08/01(木)</td> <td>7:54</td> <td>18:07</td> <td>10時間13分</td> </tr> <tr> <td>2019/08/02(金)</td> <td>7:41</td> <td>18:38</td> <td>10時間57分</td> </tr> <tr> <td>2019/08/05(月)</td> <td>7:45</td> <td>17:19</td> <td>9時間34分</td> </tr> <tr> <td>2019/08/06(火)</td> <td>8:02</td> <td>19:26</td> <td>11時間24分</td> </tr> <tr> <td>2019/08/07(水)</td> <td>8:34</td> <td>19:08</td> <td>10時間34分</td> </tr> </table>						日付	出勤時刻	退勤時刻	勤務時間	2019/08/01(木)	7:54	18:07	10時間13分	2019/08/02(金)	7:41	18:38	10時間57分	2019/08/05(月)	7:45	17:19	9時間34分	2019/08/06(火)	8:02	19:26	11時間24分	2019/08/07(水)	8:34	19:08	10時間34分
日付							出勤時刻	退勤時刻	勤務時間																					
2019/08/01(木)							7:54	18:07	10時間13分																					
2019/08/02(金)							7:41	18:38	10時間57分																					
2019/08/05(月)							7:45	17:19	9時間34分																					
2019/08/06(火)							8:02	19:26	11時間24分																					
2019/08/07(水)							8:34	19:08	10時間34分																					
2																														
3																														
4																														
5																														
6																														
7																														
8																														
9	勤務日数		5	勤務時間合計		52時間42分																								
10																														

## 第04章:複数の論理式-AND 関数・OR 関数

### 04章01節…論理式と IF 関数の復習と確認

(01) 以下のような表を作成しましょう。9 行目には AVERAGE 関数を使っています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B	
3		相沢	46	68	73								
4		井上	69	69	33								
5		佐々木	74	77	57								
6		田辺	52	68	27								
7		細川	61	62	63								
8		山崎	61	73	62								
9		平均	60.5	69.5	52.5								
10													

(02) 論理式の復習です。[英語]の点数が 70 より大きい場合に F3 へ「TRUE」が表示されるようにします。F3 に「=D3>70」の式を作成してください。

OR : x ✓ f =D3>70

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B	
3		相沢	46	68	73	=D3>70							
4		井上	69	69	33								
5		佐々木	74	77	57								
6		田辺	52	68	27								
7		細川	61	62	63								
8		山崎	61	73	62								
9		平均	60.5	69.5	52.5								
10													

(03) F3 の式を F8 までコピーしてください。

F3 : x ✓ f =D3>70

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B	
3		相沢	46	68	73	FALSE							
4		井上	69	69	33	FALSE							
5		佐々木	74	77	57	TRUE							
6		田辺	52	68	27	FALSE							
7		細川	61	62	63	FALSE							
8		山崎	61	73	62	TRUE							
9		平均	60.5	69.5	52.5								
10													

(04) [論理式]とは、正しければ「TRUE」が、誤っていれば「FALSE」が返る計算式でした。「IF 関数」は「TRUE/FALSE」の代わりに返す値を別途指定できる計算式でした。IF 関数の復習をします。今度は[英語]の点数が 70 より大きい場合に J3 へ「○」が表示されるようにします。J3 で関数の作成を開始してください。

J3 : x ✓ f

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B	
3		相沢	46	68	73	FALSE							
4		井上	69	69	33	FALSE							
5		佐々木	74	77	57								
6		田辺	52	68	27								
7		細川	61	62	63								
8		山崎	61	73	62	TRUE							
9		平均	60.5	69.5	52.5								
10													

(05) [関数の分類]を「すべて表示」にして「IF」関数を選択してください。

関数の挿入

関数の検索(S):

関数の分類(C): **すべて表示**

関数名(N):

**IF**

IF(論理式,値が真の場合,値が偽の場合)  
論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

1. [関数の分類]は「すべて表示」に

2. 「IF」関数を選択

「論理」からも探せる  
探し方はお好みで

OK キャンセル

(06) 引数[論理式]には「D3>70」を指定します。先頭の「=」は入れません。続けて引数[値が真の場合]を「〇」とします。この引数へは「TRUE」の代わりに返す値を指定します。「"」は文字列を囲む引用符です。引数[値が偽の場合]は「"×"」としましょう。この引数へは「FALSE」の代わりに返す値を指定します。設定後はOKします。

名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A
相沢	46	68	73	FALSE	
井上	69	69	33	FALSE	
佐々木	74	77	57	TRUE	
田辺	52	68	27	FALSE	
細川	61	62	63	FALSE	
山崎	61	73	62	TRUE	
平均	60.5	69.5	52.5		

[論理式]に論理式「D3>70」を指定。  
[値が真の場合]に「〇」を指定。  
[値が偽の場合]に「×」を指定。

(07) J3 の式を J8 までコピーしましょう。IF 関数を用いれば、論理式の真偽に応じた値を指定できるのでした。ここまでは復習事項です。

名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A	判断4A	判断1B	判断2B	判断4B
相沢	46	68	73	FALSE				×		
井上	69	69	33	FALSE				×		
佐々木	74	77	57	TRUE				〇		
田辺	52	68	27	FALSE				×		
細川	61	62	63	FALSE				×		
山崎	61	73	62	TRUE				〇		
平均	60.5	69.5	52.5							

J3の式をJ8までコピー

## 04章02節…AND 関数の使用

(01) G 列には国語も英語も数学も 60 より大きい場合のみ TRUE と表示させます。

しかし「C3~E3>60」のような論理式は使用できません。「C3>60」「D3>60」「E3>60」とひとつずつ比較評価する必要があります。複数の論理式を結合するには「AND 関数」を使います。AND 関数は論理式の指定の前に使います。G3 をアクティブにして[関数の挿入]をクリックしてください。

2. [関数の挿入]をクリック

1. G3 をアクティブに

論理式は1つのセルしか検査できない。複数のセルを検査する場合は AND 関数・OR 関数を使う。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A	判断3A
3		相沢	46	68	73	FALSE		
4		井上	69	69	33	FALSE		
5		佐々木	74	77	57	TRUE		
6		田辺	52	68	27	FALSE		
7		細川	61	62	63	FALSE		
8		山崎	61	73	62	TRUE		
9		平均	60.5	69.5	52.5			
10								
11								

(02) [関数の分類]を「すべて表示」にして「AND」関数を選択してください。

1. [関数の分類]は「すべて表示」に

2. 「AND」関数を選択

「論理」からも探せる

(03) 引数[論理式 1][論理式 2][論理式 3…]欄に結合したい論理式を入力します。この中では先頭の「=」をセットしません(左辺・比較演算子・右辺、のみ)。最初に[論理式 1]欄で「C3>60」を作成してください。セル参照「C3」の指定はクリックでおこないます。OK はしません。

[論理式 1]欄に論理式「C3>60」を作成

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		名前	国語	英語	数学	判断1A	判断2A
3		相沢	46	68	73	FALSE	>60
4		井上	69	69	33	FALSE	
5		佐々木	74	77	57	TRUE	
6		田辺	52	68	27	FALSE	
7		細川	61	62	63	FALSE	
8		山崎	61	73	62	TRUE	
9		平均	60.5	69.5	52.5		
10							
11							
12							
13							
14							
15							

(04) 続けて[論理式 2]欄には「D3>60」・[論理式 3]欄には「E3>60」という論理式を作成してください。AND 関数は[論理式 1~3]がすべて「TRUE」の場合のみに「TRUE」を結果として返す関数です。完成後は数式バーを確認してOKしてください。

(05) G3 の式を G8 までコピーしましょう。AND 関数を用いれば、指定した複数の論理式がすべて満たされる場合のみ「TRUE」を表示させる、という式を作成できるのです。

(06) さて練習です。全科目が各[平均]を上回る場合のみ H 列に TRUE と表示させます。H3 をアクティブにして[関数の挿入]をクリックしてください。

(07) AND 関数を選択します。[論理式 1]には「C3>C9」(46>60.5)を設定します。ただし式を下にコピーすることを考えて C9 は絶対参照しておきます。「\$C\$9」でも「C\$9」でもどちらでもかまいません。